

# 第1学年2組 生活科学習指導案

【日時】令和7年7月24日(木) 9:20~10:05 【場所】1年2組教室 【指導者】嶋田 恭子

## 本授業の参観の視点

様々な方法を使って自分が経験した出来事やその時の気持ちを思い返す中で、同じ事象でも見方を変えていく姿をご覧ください。

1 単元名 できた！が いっぱい - 「わんぱくたんけんたい」の もっとしりたい おしえたい

### 2 単元の構想

#### (1) 児童について

本学級の児童は、学校探検の中で、「もっと知りたい。」「なぜ?」「どうすればいいの?」と新たな思いや願いをもって活動し、学校生活の中で自分なりに対象に働きかける経験をしてきた。また、授業以外の時間でも、「〇〇があったよ(見付ける)。「同じだったよ(比較)。「〇〇みたい(例える)。」と、見付けたことや予想したことを伝える姿から、思考を伴いながら対象に働きかける活動を楽しんでいる様子も伺える。さらに、これまでの経験や成長を自覚し、気付きの質を高めていくことが求められる。

#### (2) 単元について

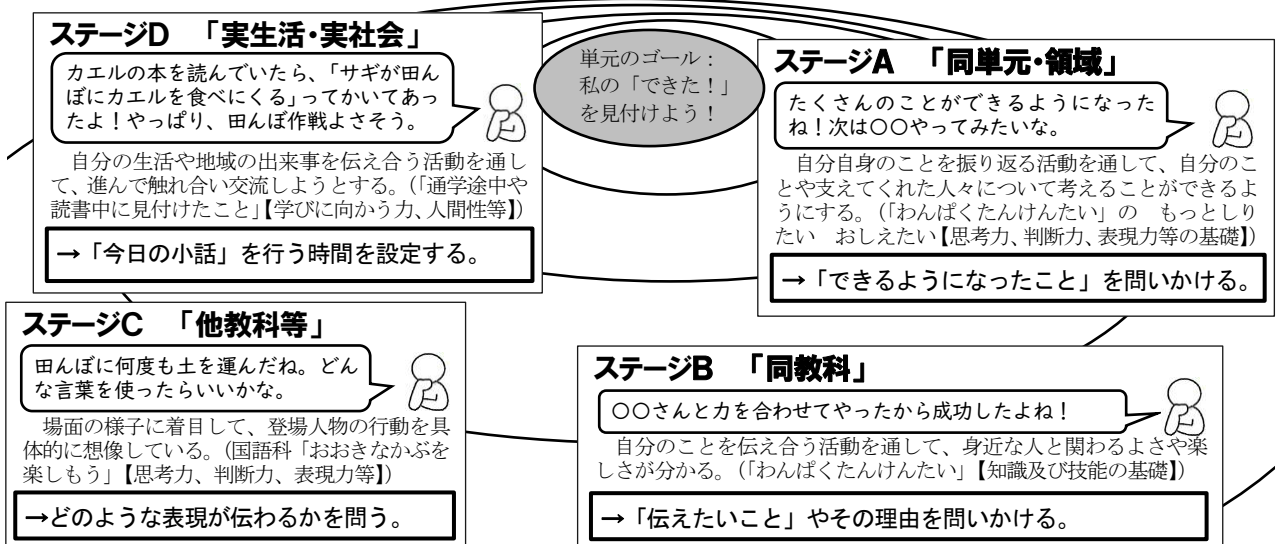
本単元は、年間テーマ「できた！が いっぱい」を構成する一単元として位置付け、学習指導要領の内容(9)「自分の成長」を中心に扱う。スタートカリキュラム段階の児童にとって、一人だけでメタ認知することは難しい。よって、短い期間の間に自分がやってきたことや考えたことを、他者と共に振り返り、思考の過程を可視化するような学習活動が大切だと考える。また、自分の対象へ繰り返し働きかけてきたことを「できた」こととして自覚することは、満足感や達成感につながるだろう。そして、「次はこんなことをやってみたい。」と新たな思いや願いをもって活動する児童の姿が期待できる。

#### (3) 指導について

指導に当たっては、行う活動を自己決定する場面(やるぜ)と、その理由を考える場面(だって)を設定をすることで、児童自身がどのように対象に働きかけるか見通しをもつことができるようにする。活動を行う過程では、発見したり、疑問をもったり、対象との関わり方に迷ったりする場面が生じることが予想される。そこで、経験や考えを共有する(Share)場面を意図的に設定する。1年生段階では、思考を見取る手立てとして、活動途中で教師が問い返すことや、見付けたことを自分で記録できる学習環境構成を行うことで、共有する場面をつくり思考の自覚を促す。このような学習活動を繰り返すことで、思考を働かせ、試したり工夫したりと自分達の働きかけで解決できるようにする。

#### (4) 期待する「回遊する学び」について

本単元における児童の姿を小学校全体テーマの「回遊する学び」に関わる内容と資質・能力に関連付け、下記のように整理する。



### 3 単元の目標と評価規準

#### (1) 単元の目標

入学してからこれまでのことを振り返る活動を通して、4月の自分と現在の自分を比較し、自分自身が成長していることに気付くとともに、これからの生活に期待をもって意欲的に生活できるようにする。

#### (2) 評価規準

ア 「わんぱくたんけんたい」の記録をもとに、「思い出〇〇」をつかって遊ぶ活動を通して、自分自身が成長していることに気付いている。 【知識・技能】

イ 「わんぱくたんけんたい」の記録をもとに、「思い出〇〇」をつかって遊ぶ活動を通して、過去と現在の自分を比較している。 【思考・判断・表現】

ウ 「わんぱくたんけんたい」の記録をもとに、「思い出〇〇」をつかって遊ぶ活動を通して、これからの期待をもって意欲的に生活しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

#### 4 単元の指導計画 (全 15 時間 本時 13/15 時間目)

※本単元に関わる前単元 (矢印  は、児童の思いや願いのつながり)

単元名	これまでの主な活動の流れ	指導上の留意点 (・)	評価規準(◆)【観点】	回遊
○「学校さんぽ」をしよう。(2時間)	<p>附属小学校にはどんなものがあるのかな。</p> <p>1年2組の教室の外にも行ってみたいな。</p> <p>みんなで「学校さんぽ」に行こう！</p>	<p>・発見を楽しむことができるように、児童の気になったものやことに共感する。</p>	<p>◆学校の様子に関心をもって散歩をしている。 【主】</p>	A
○「学校たんけん」をしよう。(18時間)	<p>また、「学校さんぽ」に行ってみよう。</p> <p>学校には、どんなものがあるかな？</p> <p>〇〇があったよ。(見付ける)      何かな。〇〇みたいだね。(たとえる)</p> <p>やるぜ⇒学校を探検するよ。 だって⇒またおもしろいものが発見できそうだから。(予想)</p> <p>実が落ちているよ。さくらんぼみたいだね。(たとえる)      巣があるよ。もしかして鳥の巣かな。(予想)</p> <p>やるぜ⇒学校を探検するよ。 だって⇒学校を探検すると、またおもしろいもの発見できそうだから。(予想)</p> <p>実が落ちているよ。さくらんぼみたいだね。(たとえる)      運動場に魚が落ちている。川から飛んできたの？(予想)</p> <p>やるぜ⇒学校探検をして、魚を探すよ。 だって⇒〇〇に行ったら落ちてそうだから。(予想)</p> <p>あのさくらんぼが本に載っていたよ。(比べる)      もしかして、この魚は鳥さんの食べ物かな。(予想)</p> <p>やるぜ⇒わんぱくだんでやってきたことをみんなに教えたい。 だって⇒すごいことが起こったから。(見通し)</p> <p>※学校探検で「〇〇があったよ(見付ける)」や「〇〇みたいだね(たとえる)」から「もっと知りたい(工夫)」、「〇〇するといいかもしれない(見通す)」、「やってみて確かめたい(試す)」などへと、自分の思いや願いを追求していく学習活動に展開していく。</p>	<p>・活動の始めには、やりたい活動の理由を問うことで、本時の活動を見通し、目的意識をもって活動をはじめることができるようにする。</p> <p>・見付けたことや考えたことを全体で話したり描いたり(書いたり)する場を設定することで、気付きを捉え直すことができるようにする。</p> <p>・見付けたものや、活動の様子を記録できる場を設定しておくことで、他の児童とも共有したり、振り返ったりすることができるようにする。</p>	<p>◆学校の様子に関心をもって探検をしている。 【主】</p> <p>◆それぞれの思いや願いを実現するために、これまでの経験を生かして必要な情報を得たり、自分の活動に取り入れられている。 【思・判・表】</p> <p>◆学校にあるものやこと、身近な季節の様子などを、発見したり関わったりする楽しさに気付いている。 【知・技】</p>	A B C D

※本単元

単元名	主な活動の流れ	指導上の留意点（・）	評価規準（◆）【観点】	回遊
○できた！が いっぱい「わ んぱくたんけ んたい」の もつしりた い おしえた い (15 時間)	<p>どうやってわんぱくだんのことを教えようかな？</p> <p>みんなでしたこと も事件のことも映 画にできそうだよ。</p> <p>鳥さんがアオサギ って分かったこと を教えたいな。</p> <p>やるぜ⇒わんぱくだんの「思い出○○」をつくるよ。 だって⇒自分達が見付けたことやしてきたことが思い出になるよ。忘れないようにしたいし、みんなにも教えられるからだよ。(見通し)</p> <p>まだ分からない ことがあるよ。</p> <p>最近、わんぱく山に アオサギがいない ね。なぜかな？</p> <p>やるぜ⇒やってきたことを確かめたいよ。 だって⇒やってきたことを忘れてしまったよ。○○の ときどうだったかな。私は、まだ分からないことがあ るからもっと調べたいよ。(見通し)</p> <p>附属小学校には不 思議なものやおも しろいことがたく さんあったね。</p> <p>みんなでやって楽 しかったね。また、 みんなで学校たん けんしたいな。</p> <p>はじめはできなかったけど、みんなでやると、 楽しかったし、難しいこともできたね。「でき た」！がたくさん増えたよ。嬉しいな。</p> <p>やるぜ⇒次はこんなことをしたいな。 だって⇒みんなで「できた！」がいっぱいになってき たから、もっと「できた！」を増やしたい。(見通し)</p> <p>「できた！」がたくさんあったね。「思い出○ ○」もみんなに見てほしいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果物をいつでも見ることができるよう にしたり自分で記録 できる場を設定し たりして、経験した出 来事を思い出した いときにいつでも自 分で振り返ることが できるようにする。</li> <li>・学習場面での自分 の気持ちを表現する 顔を書くことを促 すことで、出来事 だけではなく、その 時の思いや気持ち を思い返すことが できるようにする。</li> <li>・自分の「思い出○ ○」を使って友達 と遊ぶことで、新 たな気づきを得た り身近な他者との 関わりを思い浮か べたりできるように する。</li> </ul>	<p>◆つくりたい「○○」 に合わせて、これ までの成果物から必 要な出来事を選ぼう としている。 【主】</p> <p>◆1学期の学校生活 の中で「できるよう になったこと」に気 付いている。 【知・技】</p> <p>◆過去の自分と現在 の自分を比べながら 、自分らしさや成長 し続ける自分を捉 えている。 【思・判・表】</p>	A B C D
(本時)				

※本単元から広がった小単元の様子（単元の前半を抜粋）

単元名	これまでの主な活動の流れ	指導上の留意点（・）	評価規準（◆）【観点】	回遊
○「アオサギを 附属小によぼ う」をしよう。 (20 時間)	<p>最近、アオサギがいないよ。心配だよ。</p> <p>また、アオサギさんに来てほしいよ。</p> <p>みんなでアオサギさんをよぼう！</p> <p>どうしたらいいか な。</p> <p>アオサギがいると ころってどこかな。</p> <p>やるぜ⇒田んぼをつくるよ。 だって⇒校外学習に行くときに、バスの外を見たら、 田んぼにアオサギやシラサギがたくさんいるのを見 えたよ。だから、田んぼがあるとアオサギが来るか もしれないよ。(予想)</p> <p>田んぼってどうや ってつくったら いいのかな。</p> <p>どうして田んぼに アオサギがいた のかな？</p> <p>※現在、進行中</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発見を楽しむこと ができるように、 児童の気になった ものやことに共 感する。</li> <li>・発見を記録でき る場を設定し、自 分たちで友達と共 有したり、振り返 ったりできるように する。</li> <li>・児童の気づきに 対して、問い返し を行うことで、過 去の経験と関連付 けて考えることを 促す。</li> </ul>	<p>◆植物を育てたり 観察したりする活 動を通して、季節 の特徴に応じなが らそれらと関わり ようとしている。 【主】</p> <p>◆身近な自然の様 子の共通点や違い 、季節の変化に気 付いている。 【知・技】</p> <p>◆諸感覚を生か して、身近な自然 に関わっている。 【思・判・表】</p>	A B C D

5 本時の指導 (13/15)

(1) 指導目標

自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分らしさや成長し続ける自分を実感できるようにする。

(2) 評価規準

イ 具体的な手掛かりを基に、過去の自分自身や出来事を振り返り、今後の活動に生かすことを見付けようとしている。 【思考・判断・表現】

(3) 展開 (波線部は「回遊する学び」に関わる手立て)

学習活動と児童の反応 ( [ ] )	教師の働きかけと形成的評価 (◆)
<p>1 今日の小話をする。 (5分)</p> <p>・今日の朝、佐賀神社でアオサギがたくさん寝ていたよ。川で魚を狙っているサギもいたよ。</p> <p>2 本時の活動を決める。 (5分)</p> <p>・友達と見せ合いっこしたい。だって、ちゃんとできているか心配だから。(見通し)</p> <p>・田んぼを見に行きたい。だって、どうなっているか知りたいし、確かめたいから。(見通し)</p>	<p>1 <u>最近の出来事の中から友達に伝えたいことを問うことで、最近の日常生活での発見を思い返したり、前に見つけたことと比較したりできるようにする。(D)</u></p> <p>2-(1)本時の活動を自己決定することで、行いたいことを自覚して活動できるようにする。</p> <p>2-(2)活動の理由を問い、実現したいことを再確認したり、前時の気付きと関連付けたりして、目的意識をもって活動できるようにする。</p>
<p>わんぱくたんけんたいの かつどうを すすめよう！</p>	
<p>3 「思い出〇〇」の活動を振り返る。 (20分)</p> <p>やるぜ！①「ぼくたちはどう生きたか」</p> <p>※やってきたことを振り返るための活動</p> <p>○進めている「思い出〇〇」の活動</p> <p>映画、紙芝居、指人形、図鑑、本</p> <p>・やってみて、できているかどうか確かめる。</p> <p>・見せ合いっこをして、アドバイスをもらう。</p> <p>やるぜ！②「アオサギまってるよ！」</p> <p>※やりたいことを追求する活動</p> <p>○田んぼ作戦</p> <p>・田んぼの様子を見たり、世話をしたりする。</p> <p>○お魚作戦</p> <p>・サギが好きな魚を調べる。</p>	<p>3-(1)<u>やってきたことを問い、自分が行ってきた活動を思い返すことができるようにする。(A)</u></p> <p>3-(2)<u>見付けたことを掲示できる場を作り、活動を思い返すことができるようにする。(B)</u></p> <p>3-(3)<u>他教科等で学んだことを掲示しておくことで、国語科でできるようになったことを使いながら自身の思いを表現できるようにする。(C)</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆ 具体的な手掛かりを付け加えながら、過去の自分自身の出来事を発言したり、書いたりしているか。(発言・行動) 【思・判・表】</p> <p>B これまでやってきたことを思い返しながら、伝えたいことを付箋に書いている。</p> <p>C→ これまでやってきたことを問ひかけ、教師と一緒にこれまでの成果物を見たり、これからすることを考えたりする。</p> </div>
<p>4 これからの活動につなげる。 (15分)</p> <p>・みんなでたくさんのをやってきたね。汗もダラダラになるくらいがんばったよ。あの時のオレンジジュースおいしかったな。</p> <p>・はじめは全然知らなかったけれど、サギのことをたくさん調べて、「アオサギ研究所」をつかったよ。夏休みも、もっと調べてくるよ！</p> <p>・自分もがんばったけど、やっぱり、友達とみんなでするからできたね。たもと先生もがんばったよ。だって、たくさん手伝ってくれて、みんなと一緒にやったからね。</p>	<p>4-(1)<u>これまでやってきたことが初めからできたのかを問うことで、入学当初と今の自分を比較し、出来なかったことができるようになってきた自分に気付くことを促す。(A)</u></p> <p>4-(2)<u>なぜできるようになってきたのかを問うことで、児童自身の頑張りや身の回りの様々な人が支えてくれていることに気付くことができるようにする。(A)</u></p> <p>4-(3)これまでの活動で「できた！こと」がどんなときに使えそうかを問うことで、これからの活動に生かすことができるようにする。</p>